

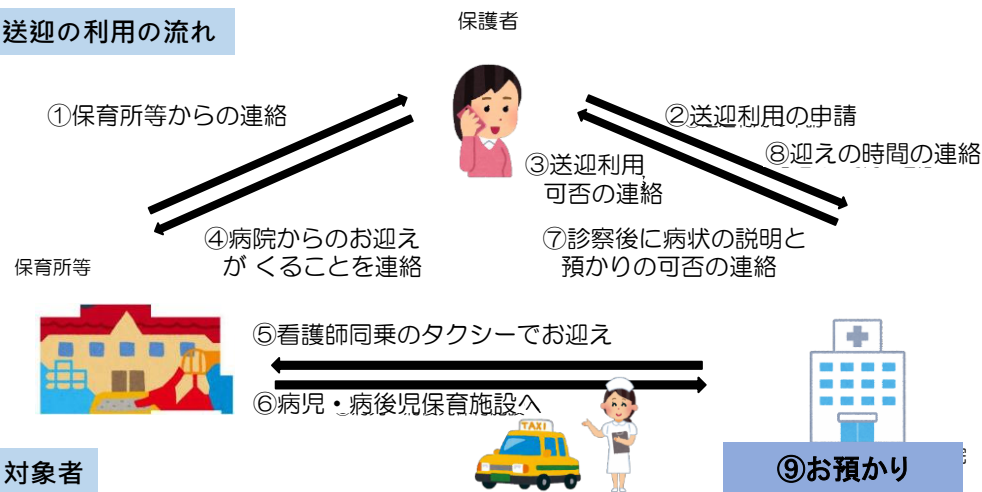
## 愛媛県資料2-1; 病児・病後児保育施設の取り組み好事例

## 病児・病後児保育送迎サービス

## 病児・病後児保育の送迎とは

保育園等でお子さまが体調不良となった際、保護者が仕事等の都合で迎えに行くことができない場合、病児・病後児保育実施施設の看護師が保護者の代わりに保育園等へ迎えに行き、診察後、保護者が迎えに来るまで病児・病後児保育実施施設で一時的にお預かりする事業です。

## 送迎の利用の流れ



## 対象者

市町内に住所を有し、保育所・認定こども園・幼稚園・託児所・小学校・児童クラブ等に在籍している子ども  
※在宅の子どもは利用できません。

松山市ホームページより

## 病児・病後児保育送迎サービス

愛媛県4市町5施設; 松山市2施設、松前町1施設、西予市1施設、伊予市1施設

### 利用料金

- ①病児・病後児保育利用料
  - ②タクシー代 保育所等から病児・病後児保育実施施設までの料金  
(子どもが乗車した区間)
- ①②を病児・病後児保育実施施設に支払う。  
子どもが乗車していない区間は市町が支払う。

### 事前登録

事前登録と医師の面談が必要。

送迎実施施設に対し、 事前に送迎利用登録申請書を提出。

### 注意事項

当日の病児・病後児保育の利用状況、送迎対応の利用が混み合っている時は利用できない場合あり。

## 愛媛県医師会ファミリーサポートサービスの取り組み

### 医師会運営か既存サービス利用か 検討

1 行政ファミリーサポートセンター見学

2 愛媛県医師会女性医師部会・勤務医病院部合同講演会

「ファミリーサポートセンターについて」

まつやまファミリー・サポート・センターアドバイザー 河野 晃子氏

「保育サポーター事業(医師会運営)の誕生、今、これから」

山口県医師会副会長 今村 孝子先生

行政・民間

○しっかりした制度と運営、

×実働サポーター不足、×必須研修講師不足

医師会

○医師のニーズにきめ細かく臨機応変に対応

×核となる相談員、×サポーター教育等医師会の負担大きい

既存サービス利用 に決定

## 愛媛県医師会ファミリーサポートサービスの取り組み

### ファミリーサポート広報

愛媛県医師会ホームページに  
行政運営ファミリーサポートセンター紹介  
県内20市町のうち12市町運営  
それぞれのファミリーサポートセンターにリンク  
医師会主催研修会で利用の民間託児サービス1社の  
シッター派遣サービス紹介

### ファミリーサポート協力

実働サポーター不足に向け必須講習講師などの協力

## 愛媛県資料4; 男女共同参画における医師会と大学の連携

愛媛県医師会女性医師部会 委員 11 名  
 男性 2名 (19%) 大学医師 3名(27%)  
 医師会と大学は常に連携・協力して活動

## 第12回男女研修医、医学生との懇談会

## 「男女共同参画-男性医師の立場から」

日時 令和元年10月23日 (水) 18:00~19:30  
 場所 愛媛大学医学部 地域医療支援センター1階 講義室1  
 主催 日本医師会 愛媛県医師会

## ①「未来は僕らの手の中～男性にとっての男女共同参画」

河内義弘先生 愛媛県立中央病院放射線科専攻医

## ②「キッチンは広めに」

二宮朋之先生 愛媛県立中央病院消化器病センター長/ 医療秘書管理室長

## ③「男の子育て」

石前峰斉先生 愛媛大学医学部附属病院周産母子センター准教授